

「消費税のひみつを調べよう」

—消費税(税金)について自分の考えをもとう—

秋田県男鹿市立鶴木小学校教諭 大久保武彦

| | | | |
|---------|------|---------------|------------------------|
| 事例の位置付け | 実施学年 | 第4学年 | |
| | 教科等 | 総合的な学習の時間 | ☆総合的な学習の時間 ☆中学校 社会科 |
| | 単元名 | 消費税のひみつを調べよう。 | |

ねらい

- 1 買い物体験などから消費税についての課題を見つけることができる。 【課題発見】
- 2 疑問に思ったことを自分の考えた方法で調べたり聞いたりして、解決しようとする。 【課題解決】
- 3 自分なりの方法で調べたことや意見をまとめ、これからの生活に生かそうとする。 【表現】

展開の特色

- 1 自分が使うお金に対し、消費税分も含めたしっかりとした計画が立てられるようにする。
- 2 自分が負担した消費税が、みんなのために利用されていることを知ることで、お金の大切さに気づかせる。

本時の展開

- 本時の目標**
- 1 自分が調べた結果をしっかりと相手に伝えることができる。
 - 2 これまで自分が調べたことや友達の見解から、消費税についての自分の考えをもつことができる。

構成

消費税については、中学校社会科などで扱われるが、ここでは児童の生活のなかからの関心を踏まえて、4年生なりに調べたり考えたりすることにした。

- 第1次 消費税に対し興味や関心をもち、学習課題を決める。(3時間)
 - ・消費税について知っている事を話し合い、関心を高める。
 - ・日常生活や今までの体験をもとに、消費税に関する多くの課題や疑問のなかから自分が探究したい課題を見つける。
- 第2次 自分が考え計画した方法で、消費税について調べる。(12時間)
 - ・学習課題を探究するため、見通しをもち、計画を立てる。
 - ・自分が考え計画した方法で、探究活動をする。
 - ・探究活動をした結果を相手に伝えるように工夫した方法でまとめる。
- 第3次 調べたことを発表し合い、消費税について自分の考えをもつ。(3時間)
 - ・発表会を行い、自分の調べたことを他の人にも知ってもらう。
 - ・発表の内容から消費税に自分の考えをもつ。(本時2/3)
 - ・これまでの自分の取り組みや、他の人の発表から分かったことをまとめる。

| | 学習内容 | 学習活動 |
|------|------------------|--|
| つかむ | 1 本時の学習課題の確認をする。 | ①前時の発表を振り返り、本時の学習課題を確認する。 |
| 学び合う | 2 発表する。 | ②消費税について、調べたことを発表する。 ・「消費税はどうして生まれたのか」 ・「他の国の消費税は」 |
| | 3 課題について話し合う。 | ③自分が調べたことや、友だちの発表をもとに本時の課題について話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">消費税を上げようという話がありますが、自分はどう思いますか。</div> |
| | 4 大人の話聞く。 | ④保護者、町の税務課の方の話聞き、考えを深める。 |
| まとめ | 5 自分の考えをまとめる。 | ⑤話し合いをもとに消費税に対する自分の考えをまとめる。 |

| 教師の支援、指導上の留意点 | 資料 |
|---|--------------|
| ・これまでの学習がすぐに想起できるような壁面構成をする。 | |
| ・聞き手に分かりやすいように、児童発表の助けとなるような資料を準備しておく。 | ・資料(→ p.159) |
| ・話し合いに深まりをもたせるための資料を提示したり、子どもの発表のなかからみんなで話し合うとよいことを見つけ出し、他の子どもになげかける。 | ・資料(→ p.159) |
| ・児童の数が少ないので、情報を広げられるように、消費税について詳しい人に補足してもらう。 | |
| ・自分の考えをうまくまとめることができない児童には、これまでの学習をふり返らせる。 | |

memo・注

